

平成26年9月10日

(事務担当)
生産流通課 農業振興G
担当：中村、柴田
(直通) 225-1621
(内線) 4672

平成26年度新嘗祭献穀田御抜穂式の開催について

平成26年度の新嘗祭献穀田御抜穂式が下記により開催される。

記

	能登地区	加賀地区
抜穂式日時 会場	平成26年9月27日(土) 午前10時30分～ 鳳珠郡穴水町宇留地現地ほ場 (別添地図参照)	平成26年9月16日(火) 午前10時00分～ かほく市谷現地ほ場 (別添地図参照)
献穀者氏名	たにぐち りょうぞう 谷口 良造	さいとう てるお 西東 輝雄
献穀田概要 ほ場面積 品 種	1,013㎡ コシヒカリ	1,077㎡ コシヒカリ
出席者	谷本 知事 山口 県議 石川 穴水町長 曾良 穴水町議会議長 山崎 JAおおぞら組合長 他	谷本 知事 木本 県議 油野 かほく市長 沖津 かほく市議会議長 井上 JA石川かほく組合長 種本 農業委員会会長 他
(参考) 御田植式	平成26年5月25日(日)	平成26年5月12日(月)

にい なめ さい 新 嘗 祭 に つ い て

1. 新嘗祭とは

新嘗祭とは、11月23日（もと陰暦11月の中の卯の日）に行う宮中行事で、天皇が新米を天地の神に供え、親しくこれを食する祭事

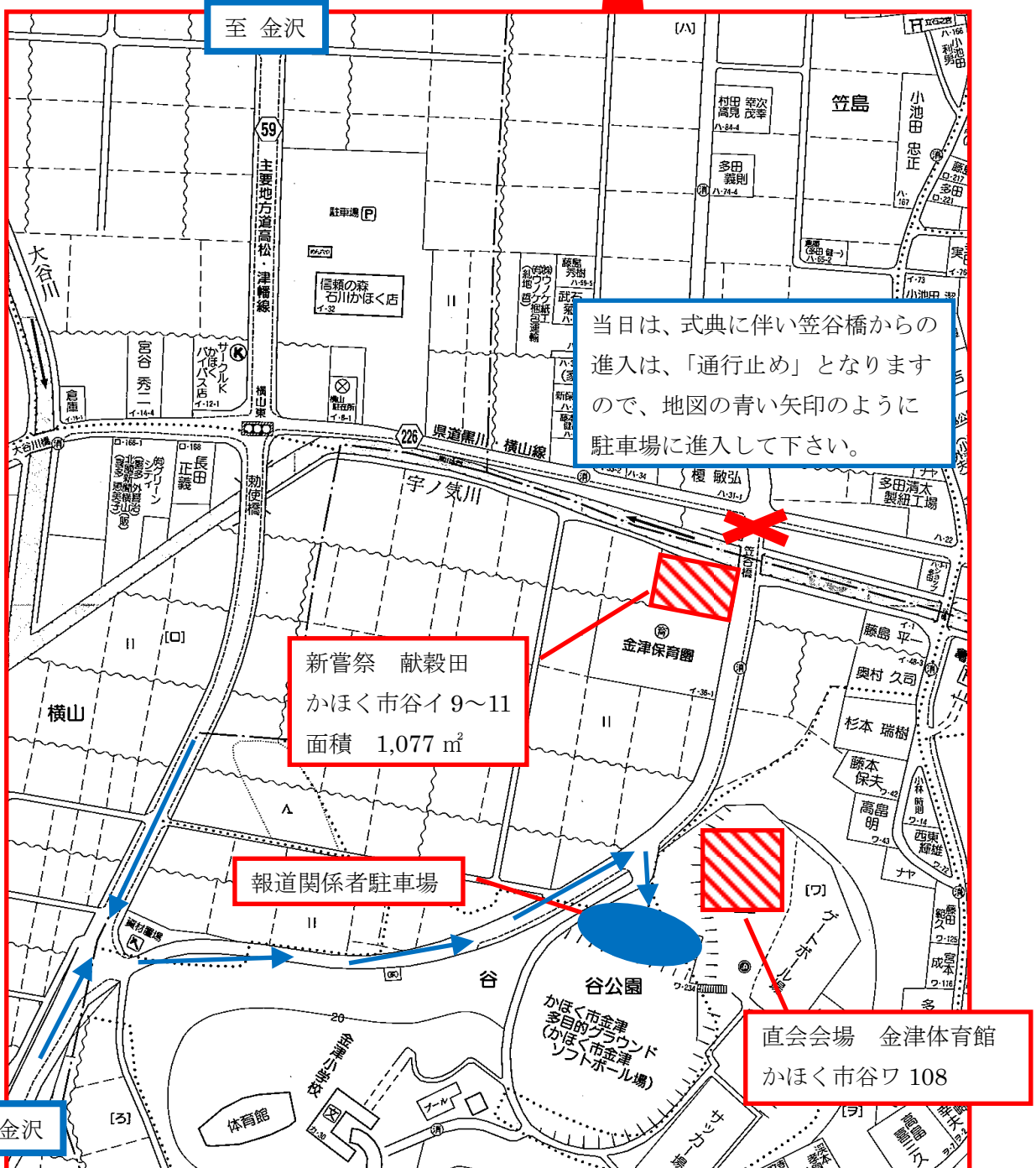
2. 新嘗祭はいつ頃から行われているか

- (1) 毎年実施されるようになったのは、第22代清寧天皇（西暦480年頃）
と言われている。（今上天皇125代）
- (2) 明治以前は、山城の国宇治の御領地で生産された米で実施されていた。
- (3) 明治初期から明治24年までは、全国の御領地で生産された米で実施されていた。
- (4) 全国の知事からの請願により、明治25年から各県で生産された米で実施されている。
- (5) 昭和21年に農林省監督が廃止され、現在の宮内庁での対応となった。

3. 献穀米の献納について

- (1) 皇居において、全国からの献穀の献納式が10月下旬頃実施される。
- (2) 皇居賢所で行われる献穀献納式に出席できるのは献穀者夫妻と市町代表者各1名ずつ
- (3) 全国各都道府県よりの献穀内容は、
精米のみ2カ所の県・・・石川県、北海道、福島県
精米のみ1カ所の県・・・愛知県、三重県、大阪府、高知県等
上記以外の都府県は、精米と精粟である。
- (4) 献納する量は、各県とも精米は1升、精粟は5合であるが、本県は精米のみを献穀者当たり5合ずつ献納する。

加賀地区 献穀田御抜穂式会場 (かほく市)



能登地区 献穀田御拔穂式会場 (穴水町)

